

# リポート 東構協

1997年 9月 1日

第 8 号

発行 東京鉄構工業協同組合  
〒104 東京都中央区八丁堀3-9-5 KSビル6階  
TEL 03 (5566) 1 5 9 5  
FAX 03 (5566) 1 5 9 7



通常総会の会場風景



懇親パーティーで親睦を深める



## 初心に帰り活動展開

理事長 金子 升一

当組合におきましては本年は役員の改選を行い、あと2年間理事長を務めさせていただくことになりました。より一層のご支援を賜わりたくお願い致します。私のこの任期中は東構協の若返りの期間と考えております。今世間では、政治においては「改革」の名のもとに行政、財政、福祉等六項目が審議されており、私共業界を所管する建設省、通産省がどのように改革されるのか、我々の仕事の中での公示・通達が廃止され、どのような形での指導がなされるのか、注意深く見守る所です。

一方、経済状況は、景気も業種によって好況を続けておりますが、我々鉄骨ファブリーケーターを取り囲む環境はゼネコン汚職に始まり、バブルのつけの債務保証等により大小の建設業者に経営不安が生じ、

お客様であるゼネコンが極めて厳しい状況下にあります。我々は、客先の動向を慎重に見分けする必要に迫られ、また自社の経営対策といかに合致させていくのか、大変難しい時代と実感しております。

このような世の中の状況で、当組合も今総会におきまして今までよりも副理事長を1名増員し、各委員会の強化を図るなかで組合活動の一層の発展を目指し、各委員長と各地区長を中心に組合員共々力を結集して問題に対処し、今まで一部に認定のための窓口的な指導組合と思われていた組合を、個々の企業が積極的に参加していただけの組合にし、魅力ある事業活動を展開させていきたいと考えています。7月23日の理事会において初心に帰っての活動、さらに他

県組合の参考にすべき活動の積極的な取り入れを決定致しました。

その一例として神奈川県鉄構業協同組合が実施している組合活動のチェックシート方法（ジャーナルNo.787号主張の欄参照）を当組合の認定検査委員会が中心になり、当組合に適合した各組合員のチェックシートの作成を検討したいと考えてます。将来を見通し、団結と結束を以て明るい鉄骨業を築くために、我々はさらに自覚を深め、展望が開けるように組合事業に積極的に参加されることを切に望みます。

魅力ある組合、明るく話し合いの出来る組合として進むべく努力を致しますので、ご協力お願い申し上げます。（那須ストラクチャー工業(株)副社長）

## 〔新地区長ごあいさつ〕

## 森 明 (西地区)



本年度より西地区長をお仰せつかりました。何分微力ゆえ、どの程度皆様のお役に立てるか不安です。前地区長の松田氏をはじめ、地区理事の励まし、そしてお力添を頂けることで、大役をお引き受けした次第です。折しもファブ業界は世間の況気回復をよそに、いまだその環境は一刻の猶予もない厳しさの最中にあり、組合活動を通じて、多少なりとも各々の経営改善に寄与出来ることを求めて、共に模索して行きたいと思ひます。

何がともあれ、受け身だけでは必ずしも良い結果は期待できません。経営と品質確保の両立をめざす認定制度でありたいと思ひても、未認定工場でも受注できる今の制度では、工場負荷の大きい認定工場は不利な競争を強いられること

は明白で強いです。この傾向は、特に西地区の過半を占める、M・Rグレード工場の対応物件が、絶えず直直し低単価の差値に苦慮しているのが実情で、今のままでは相場の上伸は望めません。一層の団結を持って、1社ではできない改善をなすうため、組合員の声を組合を通じて全構連へ、そして世間に伝えて行きたいと思ひております。(日本鉄構建設工業(株)社長)

## 辻川 幸四郎 (南地区)



南地区長に任命された辻川です。南地区は東京組合員113社のうち28社を数え、江東、墨田、足立、葛飾の各区を主に結成されています。組合事業は理事会各委員会が企画し、地区長はその事業の遂行に際して理事会各委員会と地区組合員の連携を図りたいと思ひております。何卒宜しくお願ひ致します。(株)辻川鉄工所会長

## 鈴木 能光 (北地区)



私自身この地区全社を訪問しておらず不安です。ただ、製造畑ですので、少しはこの方面からなら、お役に立てるかなと考えております。

パトロール等の報告書によりますと、認定制度により技術関係は心配無用で、必要書類の作成に苦勞されているのかなと思ひております。根気負けしないよう、日々の努力をお願いします。大小にかかわらず、見積もり物件報告制度の活用をしてはいかがでしょう。見積の時間、費用考慮すれば、トン数のみでも良いのでは……。

最近は少ないとは思ひますが、使用しない材料が場内に積み重ねられ、数年放置されているようなことがとても気になります。訪問する機会がありましたら、場内を広く使用するための討論などいかがでしょう。

(弥生建設工業(株)常務)

## 〔新任理事〕

## 川原 征二



受注価格も厳しい状況の中で常に前向きに物事を考え判断し、不況時だからこそ知恵を出し合いながら解決策を見出し、信頼関係を構築していく事が大事と思ひています。

(モットー) 和と協調

1944年8月6日生 53歳 福岡県出身

趣味 ゴルフ、少年野球指導、旅行 (川岸工業(株)取締役)

## 鈴木 能光

我々の業界環境も2~3年前に比べれば少しづつ改善され、希望が持てるようになって来ています。お互いにこの時期を逃さず、競争の中でも協調精神を忘れず、次世代のために役立つ努力をしたいと思ひます。

(弥生建設工業(株)常務)



ただいおり、今回そのまま継続した感じでおります。皆様にご選出された期待に応えるべく、新たな気構えを持って組合活動に微力ながら協力していく所存でおります。

特にRグレードに関する件につきましては、与えられた責務に応えるのが私の最大の役目と考えております。Rグレード会員各位の御協力をお願い申し上げますと同時に理事会及び上位グレード会員におかれましては格別の御配慮と御指導、御鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。(有)城所鉄建工業(株)社長

## 城所 勇

本年度の総会ではからずも理事に選出されましたが、昨年度からRグレードの代表としてオブザーバーとして理事会に出席させてい

### 杉本 豊



東構協の皆様には、いつもお世話になっております。5月の総会で新しく任命されましたが、先行き不透明なこの時期だけに大変責任を感じております。

業界の地位向上、R・Jグレード、未認定工場など小企業の問題、青経委の活動、地区の仲間意識などさまざまな方面に目を向け、皆

様と共に勉強していきたいと考えております。微力ではございますが精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

(㈱一本木鉄工社長)

### 〔新任監事〕

### 佐々木 義弘

還暦を過ぎまだ現役で頑張っております。病に倒れ、さらに厳しい環境下での会社経営と多忙な毎日が続いています。皆様も健康第一に頑



張って下さい。

この業界が今後発展していくには、一人でも多くの若者が入ってくるよう働きやすく魅力ある業界を構築していく必要があります。そして今までにも増してお客様に精度の高い製品を提供していくよう技術の研さんに努め、企業の健全な成長、業界振興に寄与していきたいと考えております。ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。 (東京建鉄㈱社長)

## (東京鉄構工業協同組合審査委員ご紹介)

### 照沼 弘 審査委員長

(久米設計)



このたび北後先生の後任として審査委員長をお受けすることになりました。当委員会も第一線でご活躍の新委員5名を迎え、新体制が整いました。

早いもので工場認定に携わって、東京都の審査委員を約14年、中央審査委員を10年近く務めて来ました。自分ながら良くやってこれ

たものと思っております。「鉄骨が好き」故に可能だったのかも知れませんが、今後はその経験を生かして活動して行きたいと思えます。

最近の我が国がおかれている政治、経済、社会情勢から考えますと、工場審査の方法も改革する時に来ていると思われま

す。第9次では認定基準も大改訂が行われました。そこで当審査委員会は『お互いが納得のいく効率の良い審査』を行う体制を確立することを基本的な考えと致します。そのためには各工場において、自主的管理がなされることが重要であると考えております。

当審査委員会は、当該工場が隣

県に多数存在するために、他県の審査委員の先生方の多大のご協力が必要であります。そのような理由からも審査委員を多くの方へお願いした次第です。審査委員の方には大変なご苦勞がかかるとは存じますが、何とぞ宜しく願ひ致します。

いずれにしましても短期間の工程の中での審査になりますので、どこまで皆様方の期待に応えられるかは分かりませんが、東京の審査が模範となるよう一生懸命頑張ります。組合員各位、審査委員、各位諸関係者が協力し合って進めていくことが必要であると考えております。



副委員長  
内田三雄  
(日建設計)



副委員長  
吉澤昌芳  
(石本建築事務所)



(松田平田)  
田中欣章委員



(久米設計)  
大塚 誠委員



副委員長  
田極義明  
(東京都都市計画局)



(日本大学)  
半貫敏夫委員



(日建設計)  
津山 巖委員



(日本設計)  
中本浩二委員

# 事業委員会 97年度活動方針

## 認定検査事業委員会

### 副理事長 奥田 隆



今年5月の組合総会で副理事長に再任されました奥田でございます。あと1

期よろしくおつき合いのほど、お願い致します。認定検査事業を担当いたします。

ご承知の通り、今年度は第9次認定の1回目の年にあたります。第8次認定に比べ、大幅な変更があ

りました。今年工場審査を受けられる会社はもちろん、2次、3次の工場の方々も今から十分研究をして、審査に備えていただきたいと思えます。内容については“東構協だより”第7号に書きましたので重複は避けませんが、特にRクラス、Jクラスの変更幅に留意されたいと思えます。

不良鉄骨や不適格業者を排し、認定制度が社会的に定着していくことを望みます。

当事業のもう一つの大きい変化は審査委員会の先生が変わられたことです。永年お世話になりまし

た北後先生、村内先生が勇退され、照沼先生を新委員長として5人の先生方（別欄にてご紹介）に審査委員に就任していただきました。ご勇退された両先生には厚い感謝を申し上げますと共に、引き続き審査をいただく内田、田極、吉澤3先生はじめ、新任の5先生のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

当事業委では今年度、受注報告、関係書類提出の徹底、工場巡回指導による品質管理能力の向上を推進していきたいと考えております。

組合員の皆様方のご協力をお願い申し上げます。（叶産業(株)会長）

## 資材共済事業委員会

### 副理事長 榎本敏昭



長期化している現在のファブ業界の低迷、いつになったらこの不景気に終わ

りがくるのか全く予想がつかない昨今、大手ゼネコンの倒産。某週刊誌に「あぶないゼネコン」全リストの記事など現在100%安全なゼネコンは皆無に等しいと聞きます。

現在我々ファブ業界は、ゼネコ

ンから仕事を受注し一般図を書上げ、チェックバックを待ち詳細図を書く、そして承認印ををもらい、現寸加工溶接と仕事は進む。すなわち入金までの期間の長さ、受注から現場建方までの間すべて立替金となっているのがこの業界の常識となっています。なおかつ最近我々ファブの間で問題になっているのが「チェックバックが遅く、その上あまりにも変更が多すぎる」など多くの問題を抱えています。とにかく現在我々のみならず、全ての業界が苦しい時代であり、一日も早い景気回復を期待するも

のであります。

さて、このたび副理事長及び資材共済事業担当という大役を申しつけられ、東京鉄構工業協同組合の組織の活性化をより一層図る事を第一に組合事業を進めて行く所存であります。

つきましては、資材共済に関して何か貴会社において購入する機材等何でも結構でございますので、組合にご一報下さるようお願い致します。また組合運営に際し、良きご理解を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます

（(株)中島鐵工所社長）

## 総務・財務・広報事業委員長

### 副理事長 松田清明

今年度総会時の理事会において総務・財務・広報担当の副理事長に選出されました。責任の重さを痛切に感じております。

当業会を取り巻く昨今の環境はかなり厳しいものでありますが、



組合員全員が団結してこの苦境を乗り切って行きたいと思えます。

当委員会としては、組合の組織財務の強化、組合と組合員、また組合員相互の情報交流のより一層の円滑化などを図るために、理事会の意向のもと、種々の施策を実

行し、また研究して行きたいと思えます。今年度はまず、組合の共同受注事業への取り組みにあたっての問題点を研究する所存であります。

いずれにしましても、組合は組合員自身のものでありますので、組合が何をしてくれるのかではなく、組合員全員が、組合の各種事業に積極的に参加し、組合を強化

・育成し、それによって組合員の利益が還元されるのだという原理

・原則をもう一度頭にたたきこんで、今後の組合活動への参加協力を

をしていこうではありませんか。  
(松田鋼業(株)社長)

## 技術教育事業委員会

### 副理事長 池田英敏



緩やかな回復という景気判断は、私達業界では未だ実感がつかめておりません。逆境に身をおいている心境といっても過言ではありません。しかし、建設業界を取り巻く環境は

急速に変化し始めております。この時代に対応できる先見力、知恵、知識向上への研さん・教育を繰り返しかえし積極的に行い、それを発揮できるような環境条件を整えれば、企業の永続を願う私達に必ずや道が開けてくると確信しております。

また、大競争時代に学ぶ姿勢と、みずからをさらして切磋琢磨しなければ、激動の時代に通用しなくなっています。しかも21世紀の足音はすぐそこまで聞こえ始めてき

ました。

技術教育委員会では、今年度、先般総会におきまして発表されました通り、技術者資格取得の講習会と損益早見表の講習会を開催し、技術力の向上、原価管理の把握と組合の活性化に役立てていきたいと考えております。皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます。

(池田鉄工(株)社長)

## 経営対策委員会

### 副理事長 安井喜信



本年度の経対は次の5名で活動することとなりました。

東地区=松本理事、吉岡理事、西地区=福地理事、北地区=鈴木理事、そして担当副理事長、南地区として安井の布陣で担当致します。

私達を取り巻く環境は依然として冬、まだあけやらぬ状態の様相です。しかし、いつまでも他力本願で「やれ景気の回復が遅い」「ゼネコンが安く受注している」とかの理由で“待ち”の姿勢でいる訳にもいきません。“攻め”の姿勢で各々が自助努力をしながら、相互協力をし、その時々々の環境にあった経営をしなければ、各社の将来の展望も見い出せない状況だと思われま

す。私達経対委としては、その一助になればと思ひながら、活動する方針です。

本年度の活動方針としては、次

の様なことを考えています。

1. 物件情報制度
2. 耐震補強工事
3. 見積書等の統一
4. 近隣県との交流

1. まず、物件情報制度について、お願いを含めて記しますと、この制度を何回か利用している組合員の方には利点が判っていると思いますが、未だ届出をしていない組合員は、2~3回、届出を試してみればその利点が判ってくると思います。是非共、実行して下さい。特に「耐震補強工事」については、全て届出をしていただく上で、組合全体として考えていきたいと思ひます。「見積もり引き合いがあった時は、届出をする習慣」をつけてほしいと思ひます。その結果として、仲間意識が生まれ、積算ミスが未然に防止でき、世間の動向も判断できるなど、大きなメリットがあることは、届出をしてみて初めて分かることと思ひます。見積もりは、私達の商売の原点と考えられます。その原点としての活動を組合として橋渡しを致しますので、是非共、ご協力を御願ひ致します。

2. 耐震補強工事の受注促進については、平成9年の夏休みに施工する工事については、殆ど出つくしたと思われま

す。しかし、来年度以降の東京都内で実施される工事については、本年度以上の出件が予定されていますので、経対としては理事会でも決定された通り、組合員個々の営業活動をサポートすると共に、各種専門工事業者と連携をとり、来年度以降の受注斡旋に努力すべく現在、調整中です。本年度に施工された組合員の体験談も聞き、研究会、勉強会も実施する予定ですので、その時には、多くの組合員の参加を御願ひ致します。

3. 見積書等の統一については、皆さんの期待も大きく、是非共、実現すべく、現在、素案の作成中です。

全構連の小委員会で、本年度中に内容を調整し、来年4月頃からの実施に向けて、現在検討をしています。

主旨としては、

- ① 見積書フォームの統一、表現字句の統一、項目別積算内容の解説、手引き

② 附帯工事、附属金物の内容と解説

③ 見積作成時の裏付けとなる原価構成の内容説明、解説等

この様な3項目を主旨として、全国の組合員及び関係諸団体を含め、「統一見積項目、内容」「統一積算内容」で、原価を意識した見積書を得意先に提出することを夢見て作業をしています。

④ 近隣県との交流については、昨年度は千葉県と合同理事会とい

う形で、交流を行い意見を交換しましたが、本年度は埼玉県との交流を実現すべく現在調整中です。

関東支部内の近隣県との交流を行い、諸問題、テーマ物件等を話し合う事により、お互いの立場を理解し合うことが大切と考え、今後、交流を進めていきたいと思っています。

また、テーマ物件につきましても、要望があれば、事務局、委員宛に連絡をいただければ、検討さ

せていただきます。

さらに、経対委としては、各月の理事会の前に委員会を行っていますので、ご提案、ご意見等があれば事務局、委員に御連絡をお願いします。

最初に記しましたように、皆様の活動の一助になればと思っています。

是非共、より一層の御協力をお願いいたします。

(信和鉄工(株)常務)

## (Rグレード部会報告)

会長 城所 勇

昨年発足以来、Rグレード部会では制限緩和を目標に活動してまいりましたが、我々の目的も不十分かもしれませんが達成しました。

## (青年経営者委員会新幹事長)

吉岡晋吾



私達、東京鉄構工業協同組合青年経営者委員会が発足して今年で12年目にな

り、現在会員数37社(38名)になっております。幹事長として私で6人目であり、諸先輩方が盛り上げ、引っ張ってこられた会を維持し、より発展させていけるかどうか多少の不安はありますが「トライ&トライ」の精神で頑張りたいと思います。

今回私が目標としている事は5月24日第7回通常総会を鉄鋼会館にて松田副理事長のご来賓挨拶をいただき、また那須ストラクチャー工業の古藤取締役技術部長を講師に迎え、技術に関する講習会をあわせて行いました。大変分かりやすく教えていただき、出席者一同非常に良い勉強を致しました。

総会にて役員改選が行われ、新役員が次のように決定しました。幹事長吉岡(吉岡工業(株))、副幹事長斉藤・杉本(株一本木鉄工)・安原(株安原鉄工所)・白柳(松田鋼業(株))の4名、幹事長補佐に黒沼(前幹事長)、会計担当幹事牛島・中川内(補)また涌田・

新RグレードのPRについても協議しましたが、当部会では全構連のPRパンフレットを利用する事はもちろん、他にRグレードにスポットを当てたPRパンフレットも考えております。皆様方より一層の御協力をお願い申し上げます。(有城所鉄建工業社長)

「品質第一」であります。受注時における適正金額にもとずいた適正納期があつてこそ要求品質に合った製品を納める事ができます。各種講習会、勉強会などを通して技術力や意識を高めていけば、これからの時代を乗り越えて行けるのではないかと考えています。

(吉岡工業(株)専務)

## (青年経営者委員会報告)

担当理事 斉藤敏雄



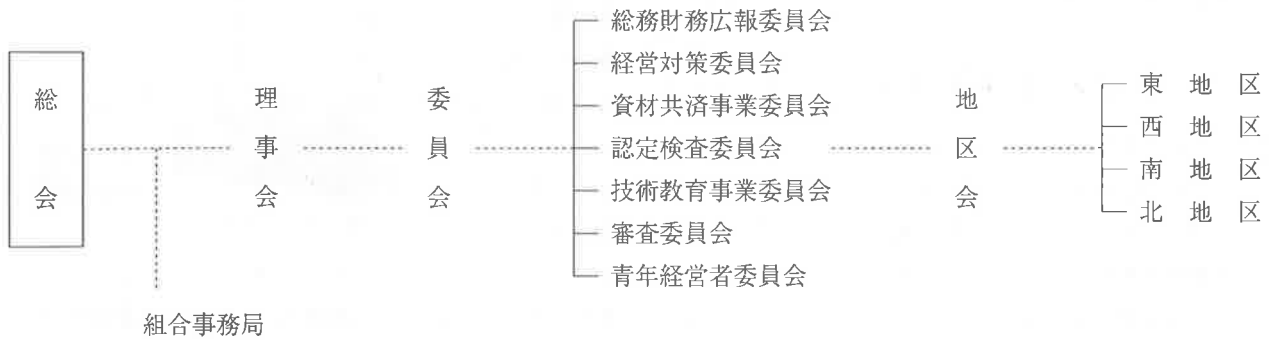
青連協関東ブロック研修会が2月22日(土)高崎市労使会館にて「第9次認定基準の改正について」と題して群馬県認定担当理事の(株)大塚製作所の大家様を講師に実施、73名が参加いたしました。東京より吉岡副幹事長、角鹿幹事、川合監査、斉藤の4名が参加し、勉強してまいりました。

池田・小島・角鹿・堀江・井本・澤・石郷岡各氏が幹事に、辻川・鈴木氏が監査役員に決定しました。青連協の第6回通常総会が4月18日高松にて四国ブロックが担当して開かれました。東京より吉岡、杉本、涌田、白柳、斉藤の5名と池田副理事長が記念行事のパネラーとして参加しました。青連協関東ブロック運営委員会第6回通常総会が5月31日(土)千葉にて開かれました。金子理事長他会員5名が参加しました。

以上簡単ですが最近の活動報告とさせていただきます。

(斉藤鉄工(株)社長)

# 東京鉄工業協同組合・組織図



## ●役職者名簿

理事長	金子 升一	理事	小橋 一男	理事	斉藤 敏雄
副理事長	奥田 隆	理事	木崎 康允	理事	川原 征二
副理事長	榎本 敏昭	理事	吉岡 克昌	理事	鈴木 能光
副理事長	松田 清明	理事	斉藤 清吉	理事	城所 勇
副理事長	池田 英敏	理事	落合一雄	理事	杉本 豊
副理事長	安井 喜信	理事	松本 英井千	監事	前田 昭男
理事	辻川 幸四郎	理事	森 明	監事	佐々木 義弘
理事	福地 實	理事	涌田 好司		

## ●委員会

◇総務財務広報委員会	委員長 松田	委員 小橋	落合	木崎			
◇経営対策委員会	安井	福地	松本	鈴木	川原	吉岡	
◇資材共済事業委員会	榎本	辻川	落合	森	斉藤(清)		
◇認定検査委員会	奥田	涌田	城所				
◇技術教育事業委員会	池田(英)	松本	森	辻川	鈴木	斉藤(敏)	杉本
◇審査委員会	照沼	内田	田極	吉澤	半貫	田中	津山 大塚 中本
◇青年経営者委員会	担当理事 斉藤(敏)	幹事長 吉岡(晋)	副幹事長 斉藤(敏)	〃 杉本	〃 安原	〃 白柳	幹事長補佐 黒沼

## ●地区会

◇東地区	地区長 松本(英) (松本(和))	副地区長 金子(古藤)	奥田(宮内)	川原(西島)	吉岡(吉岡(晋))	落合	
◇西地区	森(新関)	松田(代田)	池田(英)(平野)	福地(林)	涌田(好)(涌田(陽))	斉藤(敏)	杉本 佐々木
◇南地区	辻川(辻川(高))	安井(青野)	榎本(酒寄)	小橋	前田		
◇北地区	鈴木(沼田)	木崎(鈴木)	斉藤(清)	城所			

※上記下段 ( ) は技術担当者

※鉄骨製作管理技術者試験の受験者向講習会を10月4日(土)鉄鋼会館で開催します。ご予約下さい。  
詳細確定後ご連絡致します。

## 私の趣味

## バイク

## 理事 松本英井千

そもそも私がバイクに初めて接したのは、いまはなき親父が仕事の足に、戦後余った飛行機の部品を利用して作ったといわれるスクーターの中古車を購入したときからだ。工作、機械いじりが子供の頃から好きであった私はたちまち虜となった。

このスクーターは親父の就寝中とか徒歩外出（遠方出張等）のときはいつもの倍以上活躍していた。免許年齢と同時に軽自動車免許（今はないらしい）を取得するも、若いうちは大げなが絶えず、両親をおおいに悩ませながら今や約45年の時間がたった。人にバイク趣味を知られたときは45年のキャリアを少々自慢する言葉の裏で（子供の時から遊びを未だ続ける幼稚なやつ）という意識が何となく（恥ずかしくないか、いい加減にしろ）といっているもう一人の自分を感じる。

いま私は3台のバイクを持っているが、みな相当に古い。一番新しいのが1982年製BMW・R100RS（独乙製）、次が1972年ノートン・コマンド750（英国）、一番古いのが1965年頃のベロセット・スラックストーン500（英国）と言うとこ

ろだ、みな古いくせに良く走る。またこの車たちの個性は驚くほどはっきりとしていて、それぞれの用途での性能は半端ではない。特に長距離に強いBMWの一端を紹介すると、去年9月22日風雨のなか、朝8時に東北道の蓮田SAを同行のKさん（同じ車・私より10歳くらい若い）と2人で出発し青森ICへ2時半に着き、浅虫温泉の旅館へ3時すぎに到着した。このツーリングは台風22号と重なったため4日分の着替え類を持参したのだが、数時間の雨中高速走行のためツーリングバックの中が水浸しとなり、旅館の部屋は2人の干し物でいっぱいになった。今までのツーリングではこのようなことはなかったのだが（バック・メーカーの使用範囲は135km/hと書いてはある）。またこの日は、普段どんな走り方をしても20km/Lは走る燃費が2台とも10～11km/Lにダウンしてしまいガス欠寸前が再三あった。雨中走行の為自然水冷で冷え切ったエンジンを無理に高速運転させたためと解りいろいろ初対験があった。

翌日は9時に出発し昼食は下北半島最北端大間崎、夕は津軽半島竜飛岬を経て小泊で夕日を見ながら温泉につかり、3日目は再び青森市街を横切り八甲田、十和田湖を経て大館市からR105山深さま



本州最北端・大間崎にて右が本人

たぎの里、阿仁を通り田沢湖より乳頭温泉着。4日目は北上ICから東北道へ入り比較的楽な最終日とした。この間2人ともトラブルもなく翌日は平常通りの勤務についた。

とまあ50歳の半ばをすぎたローライダーと14年8万4,000km使用した車でのけっこうハードなツーリングを行い、改めてこのバイクの次元の高さを知った。BMW以外の車でこれと同じツーリングを行うのは屈強な若者でもかなりきついにはあるまいか。他の2台は日帰りの短距離で関東平野の周辺部のワインディングを楽しむのに最適、そしてこの2台はBMWと違って常にコンディションをベストにしておくよういつも細心の注意を払う必要がある。特に体調が悪いとキックスタートがいうことを聞いてくれないので、メカ好き人間にはいいおもちゃなのだが。少々しんどく野蛮な趣味の話でした。追：面白バイク談義希望の方は一升瓶持参のうえ個別来訪のこと。

（松本工業(株)社長）

〔会員異動 平成9年4月1日以降〕

〔入会〕 正会員 (有)中央製作所(西地区)

〔退会〕

(有)矢萩鉄工(南地区)

賛助会員 (株)正栄商会

(株)植村組

〔除名〕 大起工業(株)

(有)山口鉄工所

ホーム建設(株)

## 編集後記

人の隠れた特技・趣味は、通常仕事上のつき合いの中からはつかみにくい。本号の「私の趣味」欄

の原稿まとめは「どうしよう？」と思案するものですが、広報委員会の処理は敏速であった。投稿を頼む人と頼まれる人の組合を通じた触れ合いの深さによるものであ

ろう。何事もスムーズにうまくいくものでないが、実行しないと結果は出ないことを忘れないようにしましょう。ご投稿ありがとうございました。(Y. K)

※賛助会員名簿は都合により割愛させていただきました。ご了承下さい。